

# 授業アンケート(平成28年度後期)実施結果

## 1 実施対象科目数と回答者数等

カリキュラム	課程	講義数	受講者数	回答者数	回答率
現行カリキュラム (平成26年度以降入学生)	専門課程	91	5,020	3,470	69.1%
	教養課程	66	2,512	2,030	80.8%
旧カリキュラム (平成25年度以前入学生)	専門課程	1	24	20	83.3%

## 2 集計結果

各設問について、「強く思う←6・5・4・3・2・1 →全く思わない」から数字を選択。

選択された数字の平均値を評価結果とした

### 現行カリキュラム

#### (1) 専門課程

	設問内容	評価結果
1	教員は、シラバスの説明を通じ、授業の到達目標や意義・価値・有用性などを明確に伝えた	5.29
2	教員は、シラバスに記載されている「講義計画及び課題」に沿って講義を行った	5.30
3	この授業は、到達目標の達成に資するものだった	5.35
4	この授業は、その内容に対する関心を受講前よりも高めるものだった	5.33
5	教員は、授業のテーマや内容をより広い問題や事柄に結びつけるように指導した	5.38
6	教員は、学生のレベルや理解度をよく把握して授業していた(予習・復習の遂行が前提)	5.21
7	教員は、授業内容に対する興味や勉学意欲がわくような工夫や努力をしていた	5.25
8	この授業に対する教員の熱意が感じられた	5.45
9	この授業は、本学のディプロマ・ポリシーのいずれかに寄与する授業であった	5.32
10	この授業の受講環境は適切であった(教室等のサイズ、照明、視聴覚機材等)	5.50

#### (2) 教養課程

	設問内容	評価結果
1	教員は、シラバスの説明を通じ、授業の到達目標や意義・価値・有用性などを明確に伝えた	5.25
2	教員は、シラバスに記載されている「講義計画及び課題」に沿って講義を行った	5.26
3	この授業は、到達目標の達成に資するものだった	5.37
4	この授業は、その内容に対する関心を受講前よりも高めるものだった	5.38
5	教員は、授業のテーマや内容をより広い問題や事柄に結びつけるように指導した	5.41
6	教員は、学生のレベルや理解度をよく把握して授業していた(予習・復習の遂行が前提)	5.28
7	教員は、授業内容に対する興味や勉学意欲がわくような工夫や努力をしていた	5.33
8	この授業に対する教員の熱意が感じられた	5.48
9	この授業は、本学のディプロマ・ポリシーのいずれかに寄与する授業であった	5.33
10	この授業の受講環境は適切であった(教室等のサイズ、照明、視聴覚機材等)	5.51

## 3 アンケート内容に関する参考事項

### ディプロマ・ポリシー(平成26年度以降入学生向け)

#### ディプロマ・ポリシー(本学の教育が目指す卒業時の学生の姿)

- ①3専攻※の1つを体系的に学修するとともに、専攻を横断する学修を通じて、国際的視野を広げ、人間文化の現代的課題を探求する能力を身につけている。
- ②講義と演習を通じて、専門知識とアカデミック・スキルを修得するとともに、論理的思考力、コミュニケーション能力、問題解決能力、異文化対応力、および社会人としての基礎力を身につけている。
- ③グローバル人材養成プログラムへの主体的な取り組みによって、高度な英語コミュニケーション能力、中国語と韓国語のコミュニケーション能力、実社会で必要とされる情報処理能力を身につけている。
- ④人文学、社会科学、自然科学、スポーツ健康、キャリア教育の各分野の学修を通じて現代的教養を身につけている。

※ ①言語・文化専攻 ②メディア・コミュニケーション専攻 ③国際政治経済専攻